

KC研修生の
(関西国際センター)

Nipponレポート

第9回

放送局の仕事

このコーナーでは、関西国際センターの日本語研修に参加している
研修生が研修を通して発見したNipponについてレポートします。



「研究者・大学院生日本語研修 (2か月コース)」に参加したフダイバルディエヴァ・アジザさん (ウズベキスタン) は、国際ジャーナリズムを専攻しています。日本の放送局の仕事について知りたいと思い、日本放送協会 (NHK) に行ってみました。

◀NHK国際放送局長の佐藤さんと



【VTRコーナー】 (VTR Corner)

世界のニュースを集めて録画 (recording) しておきます。NHKでは、外国のニュースを伝えるとき、3~4か国の番組を見て、そのニュースの内容をチェックするそうです。

放送局の仕事を見せてもらいました。



【テレビスタジオと同時通訳ブース】

(TV Studio & Simultaneous Interpretation Booth)

外国語のニュースを日本語に翻訳します。1時間以内に翻訳して、放送するそうです。早いんですね!



【子ども番組の収録】

(Recording of Children's Educational Program)

子どもがいっしょに番組に参加していました。ウズベキスタンには、そのような子ども番組はありません。

日本の放送局について詳しく知るために調べてみました。

《昔のNHK》

初めての放送：1953年2月1日午後2時
テレビカメラ：5台
放送時間：1日に9分
内容：スポーツや舞台の中継 (ほとんどが生放送)

初めての放送



《今のNHK》

テレビカメラ：約1500台
放送時間：24時間
内容：ニュース、教育、ドラマ、アニメなど
300以上の番組がある



日本のテレビ番組は種類が多いし、内容もおもしろいです。ニュースの情報もとても早いと思います。日本の放送局は働いている人も多し、機械やスタジオも多いので、いろいろな良い番組を作ることができるのだと思いました。

▽日本の放送局についてもっと知りたい人は下のURLを見てください。

- NHKオンライン (日英) <http://www.nhk.or.jp/>
- NHKデジタルミュージアム (日本語) <http://www.nhk.or.jp/digitalmuseum/>
- NHKは何を伝えてきたか-NHKテレビ番組の50年 (日英) <http://www.nhk.or.jp/archives/nhk50years/>

このコーナーの担当者：和泉元千春、廣利正代 [関西国際センター日本語教育専門員]、リポーター：フダイバルディエヴァ・アジザさん (ウズベキスタン)